

# よみがえる古き佳き響きの世界

100年前のフルートとベヒシュタインピアノ  
モーツァルトのクラヴィコードとともに

フルート：素来 聡子・石井 孝治  
ピアノ&クラヴィコード：筒井 一貴

J. B. ルイエ (1680-1730)

トリオソナタ op.11/12 ト長調 (1725)

モーツァルト (1756-1791)

ヴァイオリンソナタ K.304 から、第2楽章  
(悲しみのメヌエット) (1778)

ゴーベール (1879-1941)

ギリシャ風ディヴェルティスマン (1909)  
組曲 (1921)

ハーティ (1879-1941)

アイルランドにて (1918)

ヒンデミット (1879-1941)

フルートソナタ (1936)

ほか

2019年 **9月21**日(土) **15:00**開演 (14時半開場)

**4000**円 (全席自由、50名 要予約)

原宿、カーサ・モーツァルト

渋谷区神宮前1丁目10-23 3階

主催：音楽マネージメント ファルベ <http://www.flutefarbe.com/>

問合せ：044-572-0747 (音楽マネージメント ファルベ)

[farbefl24.info@gmail.com](mailto:farbefl24.info@gmail.com) (音楽マネージメント ファルベ)

[bergheil69@me.com](mailto:bergheil69@me.com) (筒井)

後援：一般社団法人 日本フルート協会



素来 聡子  
(そらい さとこ)

大阪府出身。15歳よりフルートをはじめ、大阪教育大学特設音楽課程フルート専攻卒業。  
イギリスにて、ウィリアム・ベネット、トレヴァー・ワイ両氏のマスタークラス修了。  
在学中、茅笛の会ヨーロッパ演奏旅行に参加しスイス・イタリア各地にて、演奏、放送、録音を行なう。  
関西新人演奏会をはじめ、大阪いずみホール主催「いずみヴァレンタインコンサート」でテレマン室内管弦楽団との共演など、ソロ、室内楽、オーケストラ等数々の演奏会に出演の他、CM や有線の録音にも参加。  
大阪読売テレビ「西村由紀江の日曜はピアノ気分」にゲストとして出演。  
国際芸術連盟奨励賞受賞。  
'02年、日本フルート協会主催ハンガリー・ドイツ演奏旅行に参加。  
'04年、CD「フルートで奏でる心のうた」をリリース。  
'00年夏より神奈川県に在住し、フリーの演奏家としての演奏活動のほか、後進の指導にあっている。  
'08、'10、'18年に青葉台フィリアホールにてリサイタルを開催し好評を博す。  
フルートアンサンブル「Ensemble・Spitze」メンバー、フルート教室「ファルベ」主宰。  
パールフルート教室講師。  
これまでに、高橋成典、金昌国、西田直孝、白尾隆の各氏に師事。  
一般社団法人日本フルート協会・代議員。



石井 孝治  
(いしい こうじ)

東京都千代田区出身。11歳よりフルートを始め、武蔵野音楽大学卒業後、ハンブルグ・コンセルヴァトリウムに留学。  
故ゲルハルト・オットー、ジャン・クロード・ジェラルド氏の下で研鑽を積む。  
'87、'95、'04、'10、'14、'16年にリサイタルを開き好評を博す。  
サリエリ作曲「ファルスタッフ」日本初演時の首席フルート奏者、ミュージカル「レ・ミゼラブル」のフルート奏者、プロオーケストラで3年間首席フルート奏者を務め、'02年には、日本フルート協会が主催したハンガリー・ドイツ演奏旅行に参加し好評を博す。  
第3、4回川崎音楽賞第3位入賞。  
現在、フリーのソロ・室内楽奏者として演奏活動を行うほか、多くのアンサンブルのリーダー、指導者としても活動中。  
'04年、CD「フルートで奏でる心のうた」をリリース。  
フルートアンサンブル「Ensemble・Spitze」を主宰する他、パールフルート教室講師、神奈川ゆめカレッジ講師。  
一般社団法人日本フルート協会常任理事。  
フルート教室「ファルベ」、音楽マネージメント「ファルベ」主宰。  
これまでに、石原利矩・吉田雅夫・播博・佐野悦郎・植村泰一の各氏に師事。



筒井 一貴  
(つつい かずたか)

東京農工大学農学部卒業、東京大学大学院農学生命科学研究科修了。  
1999年、現存最古のピアノであるクリストフォリ・ピアノの複製楽器(大阪、山本宣夫製作)によるデモCDが内外で高く評価され、2004年東京文化会館小ホールなど、クリストフォリ・ピアノによる演奏会を定期的に開催、この楽器の第一人者として活躍。  
他、2001年に石川県立音楽堂オープニングイベント「音楽堂 楽器博物館」にて5種類のピアノを使った演奏会、ザ・フェニックスホール(大阪)のレクチャーコンサートシリーズ「ピアノはいつピアノになったか?」(2003年3月-2005年3月開催)第1回での演奏、2003、2009、2013年の国際クラヴィコードシンポジウム(イタリア)での演奏、2017年リードオルガン協会(アメリカ)への参加など、鍵盤の種類を問わず幅広く活動。  
さまざまな楽器を体験していることから、楽器の魅力のみならず、楽曲それ自体の魅力を十全に伝える柔軟性を体得している。現代ピアノでは合奏および伴奏を得意とし、柔軟かつきめ細かな合奏が好評。モーツァルトが使っていた旅行用クラヴィコードの複製(筒井所有)を使った親密な雰囲気コンサートも支持を集めている。  
<http://bergheil.air-nifty.com/blog/>

